

氏名	小栢進也	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	基礎理学療法、運動器理学療法、支援工学理学療法				
学位	博士（工学）				
学歴	2014年9月 大阪大学大学院 基礎工学研究科 博士後期課程 修了 2009年3月 京都大学大学院 医学研究科 修士課程 修了				
経歴	2018年4月～現在 埼玉県立大学 准教授 2017年4月～2018年3月 産業技術総合研究所 研究員				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会（論文査読委員、運動器理学療法学会 編集委員）、国際バイオメカニクス学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	リハビリテーションのための姿勢と動作	共著	あり	CBR 5ページ	金村尚彦編	2021年12月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	The effects of trunk endurance training on running kinematics and its variability in novice female runners.	共著	あり	○	Sports Biomechanics Published online 28	Shinya Ogaya, Minami Suzuki, Chiori Yoshioka, Yumi Nakamura, Shunsuke Kita & Kento Watanabe 2021.4
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	健常高齢者におけるウェッジの挿入及び足角の修正が歩行時膝関節回旋可動範囲へ与える影響	共同		第9回日本運動器理学療法学会学術大会	喜多俊介、小栢進也、藤野努、村田健児、原和彦	2021.9
2	健常高齢者における歩行時膝関節回旋可動範囲に影響を与える因子の検討	共同		第26回日本基礎理学療法学会学術大会	喜多俊介、小栢進也、鈴木康雄、松本優佳、藤野努、村田健児、原和彦	2021.10
3	Does the simplest walking model explain the relationship between propulsive force and balance?	共同		The 11th Asian-Pacific Conference on Biomechanics	Hajime Ohtsu, Kazunori Hase, Shinya Ogaya, Shunsuke Kita	2021.12
4	踵部へのジェルインソール挿入による歩行への影響	共同		第30回埼玉県理学療法学会	吉岡千織、小栢進也	2022.1
5	Flat flexible shoes着用時の歩行解析	共同		第30回埼玉県理学療法学会	大久保柊慈、小栢進也、喜多俊介、内海武	2022.1
6	高齢者における歩行中の膝関節回旋運動範囲と足部内側縦アーチの関連性	共同		第30回埼玉県理学療法学会	喜多俊介、小栢進也、鈴木康雄、松本優佳、藤野努、村田健児、原和彦	2022.1
7	振動刺激による伸張反射の変化	共同		第30回埼玉県理学療法学会	中村優美、小栢進也	2022.1
8	前足部に可動性を持つ短下肢装具使用時の歩行分析	共同		第30回埼玉県理学療法学会	内海武、小栢進也、喜多俊介、大久保柊慈	2022.1
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	変形性膝関節症の痛み—エビデンスに基づく標準化を理学療法ツールに生かすには—（招待講演）	単著		第9回日本運動器理学療法学会学術大会	小栢進也○	2021.9
2	多関節の運動学：理論と変形性膝関節症患者への応用（招待講演）	単著		第31回京都府理学療法士学会	小栢進也○	2021.12
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科学研究費補助金 挑戦的研究（萌芽）			中枢性疾患の身体を動かす抵抗感を体感できるオンラインリハビリテーション教材の開発	研究分担者	2021.4-2023.3

2	科学研究費補助金 基盤C	変形性膝関節症患者の足部形態・機能と膝関節のメカニカルストレスの関心の説明	研究分担者	2021.4-2022.3
3	受託研究	横アーチを補助するサポーター着用による動作中の足圧変化	研究代表者	2021.4-2021.10
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	運動器障害理学療法学		5	運動器障害の理学療法に関する評価・治療の講義
2	理学療法評価学		6	理学療法評価の基礎となるROMやMMTを中心とした臨床評価法の講義
3	理学療法学研究法演習	○	15	理学療法研究の紹介、研究立案、統計解析、発表方法等の講義
4	疼痛制御・予防理学療法学	○	15	疼痛・予防・科学技術を用いた理学療法に関する講義
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	基礎運動療法学演習		4	ストレッチなどの基礎的理学療法知識を元にした演習
2	理学療法評価学実習		30	理学療法評価の基礎となるROMやMMTを中心とした臨床評価法の講義と実技
3	運動器障害理学療法学実習	○	30	運動器障害の理学療法に関する評価・治療の講義と実技の授業を実施。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床教育実習 I、II、III、IV			臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った
2	IPW演習		45	IP実習学生を担当し、実習病院を訪問の上で実習指導、学生レポート、発表指導を行った
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4~2021.11	主指導 7名	副指導 1名
2	修士論文	2021.4~2022.3	主指導(指導教員) 1名	副指導(指導補助教員) 1名
3	博士論文	2021.4~2022.3	主指導(指導教員) 1名	副指導(指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	地元住民向け体力測定会	埼玉県立大学	体力測定	2022.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本理学療法士協会	理学療法学 査読委員		2021.4-2022.3
2	日本運動器理学療法学会	編集委員		2022.1-2022.3
3	専門リハビリテーション研究会	基礎部会部会長		2021.4-2022.3
4	第30回埼玉県理学療法学会	事務局長		2021.4-2022.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	読売新聞	体力測定会の実施記事掲載		2022.3
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援委員	2021.4-2022.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会	2021.4-2022.3
3	学科等における委員会等	実習指導者講習会責任者	2021.4-2022.3
4	学科等における委員会等	2年生担任	2021.4-2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		